

JOMF 派遣医師便り (2016. 2)

◆ジャカルタ◆

ジャカルタでの半年

JJC 医療相談室

伊藤 通敏

ジャカルタに、昨年8月から赴任して、約半年が、経ちました。
初めての、海外生活でしたので、最初は、緊張と不安がありました。
今は、少なくなってきました。
そこで、ここ最近、感じたことを。

1) 移動に時間が掛かる。

ジャカルタ市内には、満足な公共交通手段が、無いに等しいです。
インドネシア国有鉄道 (KERETA API) が、走ってはいるのですが、
市内の移動には、全くもって、使い勝手が悪く、
主に、郊外の町への移動に使われています。(例えば、バンドン等に行く時に。)
また、トランスジャカルタという公共バスは、あるのですが、市内を縦横無尽に
網羅しているわけではなく、名物の渋滞に、巻き込まれれば、
全く、使い物にはなりません。
早く、地下鉄が完成するのを、願うばかりです。

2) 食事が、全体的にオイリー。

インドネシア料理の代表は、何といても、ナシゴレン、焼き飯です。
また、サテアヤム、焼き鳥も、有名です。
全般的に、油で炒めた、揚げた料理が、多くて、
あっさり&さっぱりと言った料理が、見当たりません。
やはり、年とともに、油っこいが、苦手になってきた、今日この頃です。

3) インドネシア人の人好し。

インドネシア人は、見知らぬ人にも、気軽に、話しかけてきます。
自転車に乗る際には、自転車用サングラス、ヘルメットをしているためか、
まず、日本人とは分からない様で、今までに何度となく、
インドネシア語で、声をかけられました。
話の内容が、よく分からないので、
サヤ オラン ジパン。(私は、日本人です。) と言うと、
オッ、オッ。と、ビックリされます。
まあ、普段 (サングラス、ヘルメット無し) でも、インドネシア人に、
よく間違えられますが。(喜ぶべきことかどうか、複雑な気持ちです。)

まだまだ、これからも、ディープなインドネシアを、感じたいと思っています。